

2017年3月

1) コース概要

京都大学大学院工学研究科では、地球環境学舎、経営管理教育部と連携し、ASEANの12大学と連携して中核拠点（世界展開コンソーシアム）を形成し、気候変動下における強靱な国づくりを担う国際人を育成することを目指す、「気候変動下でのレジリエントな社会発展を担う国際インフラ人材育成プログラム」を実施しています。京都大学とASEANの連携大学との間で、単位相互認定を伴う短期留学による学部・修士・博士課程の学生交流を核とした協働教育履修コースを構築します。気候変動に適応するレジリエントな社会基盤を形成するために、アセアン各国の歴史・社会・経済状況を理解し、アセアン各国の人々と共にその国・地域にふさわしい社会基盤整備を考え、当該地域での社会基盤整備に汗を流し行動する国際人材育成を育成することを目指しています。

2) 修了要件

科目群	必要単位数
基礎科目	6単位（3科目）以上
エンジニアリング科目	2単位（1科目）
マネジメント科目	2単位（1科目）以上

3) Certificate

上記の修了要件を満たした学生には、“Study Area of Approaches for Disaster Resilience”を修了したことを示すサーティフィケートを授与します。

4) 提供科目一覧

基礎科目群

強靱な国づくりを実現するために必要な基礎的な技術を学ぶ科目群。英語で開講される科目から学生の研究内容に応じて選択する。

工学研究科所属学生：社会基盤工学専攻・都市社会工学専攻・都市環境工学専攻の科目標準配当表に記載された英語科目（◎印の付いた科目、学習要覧 pp. 9-10,14-15, 19 参照）から選択。

地球環境学舎所属学生：地球資源・生態系管理論，地球環境技術論，社会基盤親和技術論，流域水環境管理論，新環境工学特論 I，新環境工学特論 II（申請により他の科目（英語科目に限る）をカウントすることがあります。）

経営管理教育部所属学生：Transportation and Logistics Management, Maintenance & Management of Infrastructure, Project Finance, Risk Management & Finance から選択。工学研究科や地球環境学舎の提供科目については他研究科の取得単位として扱います。

エンジニアリング科目

現場主義の視点から現実の問題に対応する能力を身につける実践的科目。講義 10 コマと演習 3 日程度から構成される。

ID	科目名	科目内容	開講時期・場所	担当教員
AES	強靱な国づくりのためのエンジニアリングセミナー	地震, 地すべり, 津波, ジオリスクエンジニアリング	前期集中, 8 月 21 日 -31 日(予定)・カセサート大学(バンコク)	大津, 連携大学所属教員による協働講義

注: 地球環境学舎所属学生の AES の履修は, インターン研修 I と関連付けて行うことを推奨します。経営管理教育部所属学生の AES の履修は Overseas Project Management Seminar II 科目として受講することになります。履修にあたっては所属部局教員の指示に従って下さい。

マネジメント科目群

医工連携, 文理融合分野による自然災害へのマネジメント手法を学ぶ科目群。MS1 は必修科目である。

ID	科目名	開講時期・場所	担当教員
MS1	Disaster and Health Risk Management for Liveable City	前期集中, 8 月 2 日-12 日(予定), 総合研究 4 号館共通 2 講義室	清野・関連教員
MS2	Disaster Prevention & Recovery Management (経営管理研究部開講科目)	前期金曜 5 限, 総合研究 2 号館 3 階マルチメディア講義室	戸田, 河野 (経営管理大学院)
MS3	Policy Evaluation (経営管理研究部開講科目)	後期木曜 2 限, 総合研究 2 号館 大演習室 1	金 (経営管理大学院)

注: 地球環境学舎所属学生については, 上記科目に加えて下記科目を本コースマネジメント科目としてカウントできる他, 申請により他の科目 (英語科目に限る) をカウントすることがあります。

地球環境政策・経済論, 国際環境防災マネジメント論, 地域環境管理学, 景観生態保全論, 人間環境設計論

経営管理教育部所属学生については, International Mega Project Management を含むことができます。

5) スケジュール (予定)

4 月 10 日 (月) 履修登録締切 (下注参照)

4 月 21 日 (金) コース申請締切

前期 基礎科目, MS2 の履修

6 月中旬-7 月 英文レポート作成に関する講習会 (週 1 回, 全 6 回予定)

8 月 京都にて MS1, バンコクにて AES を受講 (全 4 週間, 現地研修含む)

後期 基礎科目, MS3 の履修

注: 履修登録に関する上記締切は工学研究科所属学生の場合です。経営管理教育部・地球環境学舎所属学生の場合の履修登録に関する期限は, 各自確認して下さい。

6) 費用

AES を受講するための渡航費用（往復航空券）ならびに海外旅行保険代は本プログラムが負担します。また、日本学生支援機構が提供する生活費相当の奨学金（7万円）に応募できます。

7) 応募方法

- ✓ 受講申請書（様式1, 指導教員のサインもしくは押印が必要）
- ✓ TOEIC/TOEFL/IELTS の直近のスコアのコピー
- ✓ 成績証明書（学部）のコピー
- ✓ 提出した履修登録用紙のコピー

の4点をスキャンしたファイルを、**4月21日（金）午後4時まで**に以下の問い合わせ先宛メールにて提出のこと。応募者多数の場合、提出された書類により総合的に判断し、大学の世界展開力強化事業・運営会議において受講可能者を決定します。

8) 定員

10名程度（原則として日本人学生を対象とします）

9) 注意事項

AES を受講するための渡航費用を申請するためには、修了要件を満たす科目群の履修登録を必ず行うこと。登録した科目の履修状況によっては、渡航費用を補助しないことがあります。

問い合わせ先：

大学の世界展開力事業推進室

桂キャンパス C クラスタ C1 棟-2 1階 155室

<http://www.drc.t.kyoto-u.ac.jp>, contact@drc.t.kyoto-u.ac.jp

